

港区組織条例の一部を改正し危機管理部を新たに設置

者の推薦について可決しました。 リ決し関係機関へ送付したほか、 追加提出された人事案件は、教育委員会委 議員提出による案件は、意見書など2件を !同意したほか、 部を改正する条例を可決しました。 人権擁護委員候補 港区議会委

会計、老人保健医療会計、介護保険会計の各会計、老人保健医療会計、介護保険会計の各会計、老人保健医療会計、介護保険会計の各会計、老人保健医療会計、38件を継続審査としました。 た。(要旨3面~5面掲載) 策、動物との共生など区政全般にわたりまし、 批判への対処、放置自転車・放置バイク対 大会、支所改革への区民参画、「ゆとり教育」 かせ、基本構想の改定、全国障害者スポーツ 12人の議員から区長並びに教育長に 度の一 2表・一般質問が行われました。 区民生活の安全・安心施策、文化 般会計、 憲法の精神を地方自治に生 国民健康保険事業

月15日までの20日間にわたって開会されました。

第1回定例会は、2月24日から3



障害者自立支援法案の制定に対

要旨)今国会に提案された「障 しを求める請願 クト計画」に対し、 害者自立支援法案」の審議に当 する意見書提出に関する請願 分反映させることなどを盛り込 とともに、区市町村の意見を十 家族等の実態や要望を尊重する たっては、障害のある人とその (仮称)南麻布3丁目プロジェ んだ意見書を国に提出されたい。 計画の見直

要旨)(仮称) 南麻布3丁目プ 境破壊を最小限にくい止めるた ロジェクト計画」について、環 め、計画を見直すよう事業者を

不採択とした請願

膨大な補助金に反対する請願 業務上過失致死容疑で書類送検 との理由で不採択となりました。 された森ビル 右の請願は、願意にそいがたい (株)への港区の

民間人保護の国際人道法である

回転ドアで死亡事故を起こし、

継続審査とした請願

ョン建設計画に関する請願 港区白金1丁目25番高層マンシ

> C) の速やかなる批准を日米両 びに、国際刑事裁判所 (IC 政府に求める意見書採択に関す

の使用禁止を求める意見書採択 無差別殺戮兵器クラスター 爆弾 関する請願

と生活危機打開のための緊急対 地元中小建設産業従事者の経営 地元中小建設産業従事者の経営 と生活危機打開のための緊急対 策を求める請願

開発について、住民の合意が取本木」・「虎ノ門・麻布台」再 強行する森ビルの「虎ノ門・六 策を求める請願 に依頼する請願 いように港区議会・各派各議員 れるまで、都市計画決定下さな

部=虎ノ門・六本木地区及び虎 関する請願 消し、白紙に戻して頂くことに 仙石山 (虎ノ門5丁目地区の一 合」による再開発の申請を取り 台地区両市街地再開発準備組 発区域に含まれる)の「虎ノ門 六本木地区及び虎ノ門・麻布 門・麻布台地区両市街地再開

計画」新築工事に関する請願

実施すると明記した。

「(仮称)港区麻布十番3丁目

の長年にわたる街づくりへの取 開発準備組合及び虎ノ門・麻布 台地区市街地再開発準備組合」 り組みに理解をいただき、 虎ノ門・六本木地区市街地再 ジュネー ブ条約追加議定書なら 通りに則して、六本木通りへの 消費税の大増税計画に反対する 提出に関する請願 ぐことに関する請願 浜岡原発の原発震災を未然に防 政党助成金制度の廃止の意見書 実施についての請願 六本木七丁目区域出雲大社前の

青山通り、 横断歩道及び信号機設置に関す る請願

ミュニティバスの運行を求める 外苑東通りを走るコ

充する請願 ・田畑を、ビオトープ公園に拡 どりっ子クラブ」のビオトープ 旧鞆絵小校庭にある「みなとみ

港区にフットサル場の設置を求 につき意見書の提出を求める請願 安定した公的年金制度の確立等 める請願 住居表示の早期是正に関する請願

提出に関する請願 教育基本法の改悪反対の意見書

政府内部では生活保護の給付に

くことを求める請願 港区白金台1丁目住民の住環境 対話をするよう指導していただ 持のため、仮称コンフォート白 および白金小学校の教育環境維 金台の計画見直し及び誠意的に 劣化ウラン兵器禁止に関する請願 昨年十一月二十六日に政府・与党

関する請願 六本木福祉会館 (仮称) 設立に できる介護保険制度の改善を政 介護保険制度の全般的な見直し にあたり、誰もが安心して利用

賃貸ワンルームマンション新築 「(仮称)南青山6丁目計画」 府に求める請願

下げないこと。

小規模作業所は、重度の障害者も

等については、

よって港区議会は、

誠意をもって話し合いをもつよ って事業主・施工業者に住民と 虎ノ門法曹ビル建設計画にあた う求める請願 工事に関する請願

る請願 本木地区市街地再開発に反対す

度確立のために、 とを求める請願 「改革」法の実施を中止するこ 国民が安心して暮らせる年金制 政府に年金

「教育基本法の改正を求める意

|〇〇五年度「港区教育予算」

に関する請願Ⅰ

に関する請願Ⅱ

強行する森ビル㈱の虎ノ門・六

赤坂四丁目薬研坂北地区再開発

り北側住居環境維持に関する請願

区の街づくりの早期実現に向け

て協力を求める請願

計画に関する港区環境影響調査

見書」採択に関する請願

|〇〇五年度「港区教育予算」

|〇〇五年度「港区教育予算」

に関する請願 (仮称)東麻布1丁目プロジェ に関する請願V

取下げられた

三田4丁目11番地近隣の生活環 境保全に関わる「ディーグラン セ三田聖坂」建設に関する請願 に関する請願Ⅲ |○○五年度「港区教育予算. |〇〇五年度「港区教育予算」

見書」の提出を求める請願 郵政事業民営化に反対する意

り文部科学省の「指導要領」 港区立中学校教科書選定にあた 意ある対話を求める請願 クト計画の見直しと住民との誠 よる制度運用に関する請願



要旨

二 生活保護制度を拡充すること。

生活保護に関する国庫負担の

引き下げに反対する意見書

内閣総理・厚生労働・財務・総務 衆議院・参議院議長 あて

障害者自立支援法案の制定に 対する意見

ようという流れが強まっている。 四分の三から三分の二に引き下げ 占める国庫負担の割合を、現行の

受ける権利を狭めることになる。 響を及ぼし、国民の、生活保護を 五年度に検討し、二〇〇六年度に 体像」では、生活保護費負担金の が合意した「三位一体の改革の全 るなら、自治体の財政に大きな影 |助率の見直しについて、二〇〇 国の補助の切り下げが強行され 生活保護の国庫負担率を引き 次の点を強 地方自治体が独自に支援してきた くなることが強く懸念される。 所得保障である障害基礎年金は、 応益負担(定率負担)に改めようと 業体系を創設するとし、 これまで 必要な福祉サービスが受けられな 決して十分と言える額ではなく、 これまでの利用者負担の考え方を 程された障害者自立支援法案は、 している。 現在、 障害者の主たる また、就労支援に重点を置く事 平成十七年二月十日に国会に上

2月24日 運営委員会 本会議

区長所信表明 会期決定 諸報告

般質問5名

第1回定例会 会議目程

べきである。 置付け、国の財政責任を 安心して利用できる個 を明確にす 別給付に位

3月1日

運営委員会

議案等の審査

常任委員会

28 日

常任委員会

員会の設置

25 日

運営委員会 本会議

般質問7名 議案

等付託 予算特別委

ない。 主体である区市町村の で、障害者や福祉サー 本法案は、国会に上 すすめられてきも ヒスの実施 柱されるま にとは言え 戸を十分反

2 日

常任委員会

議案等の審査

議案等の審査

3 日

運営委員会 本会議

議案の議決

4日~ 14日

分に反映できるよう実施 害者や区市町村の意見、 害者の生活実態の把握 ルの見直しを行うべきである。 国は、法案の審議と併行して、障 施スケジュ に努め、障 要望を十

15 日

常任・特別委員会

委員長報告、中間報告

予算特別委員会

内閣総理·厚生労働大I あて

> 議案等の議決 運営委員会 本会議

みなさんの を

見や要望を請願書として受付け 区議会では、区政 に対する意

区議会事務局議事係

電話3578 2111

内線2915~2917

問い合わせ

までお問い合わせ下さい。

に

請願書の 書き方

次の必要事項を記入して下さい。 せんが、下記の書き方を参考に、 は記名押印)を記入してくだ 書いてください。 日本語で請願の趣い 特に定められた様式はありま 請願者の住所、氏名 (自署又 旨を簡潔に

請願には、1名以 あて先は「港区議会議長」と ときは、代表者を定め署名簿 さい。なお、請願者が多数の 員が必要です。紹 を添付してください X 介の受け方 上の紹介議 議会事務局 (本文) (表紙) 請願の趣旨 理 紹介議員 由 に関する請願

港区議会議長あて 氏名 **(I)**

して下さい。

花と緑と水について

の安全・安心

答弁 ①区民の防犯意識の向上を 強化をはかる。②支所ごとに安 組織を見直し、取り組みの充実、 の安全確保を図る。 今年4月に 大や園児・児童が利用する施設 図り、夜間防犯パトロールの拡 支所の活用についての考えを。 提供が有効。地域の拠点である 来年度の対策と体制について。 域特性に応じた活動を始めた。 所の地域ごとに5つの生活安全 全・安心の取組みを強化する。 は、危機管理にかかわる庁内の 活動推進協議会をたちあげ、地 にする条例」施行後、本所・支 犯罪の抑止には、情報の収集、 ①「安全で安心できる港区

税金の還元について

連携が必要であると思うが。 情を反映させよ。③財政自主権 産税の取り扱いの是正を。②都区民に還元されていない固定資 が蔑ろになってよいはずはな の立場に立とうとする区の立場 市計画税の配分措置は地元の実 区の財源不足に充当されている。 政調整制度の今後の見通しと、 ているのは極めておかしい。財 調整財源の配分割合を都が定め 立場を同じくする他区との ①港区に帰属する税金が他 ①平成18年度の見直しに向

民 党 4

の改善と地元への還元を強く要 定資産税等が区に直接還元され なる他区に粘り強く働きかける。 望する。②都に対し、実施状況 ない現状に対し、財政調整制度 けて都と23区の間で協議中。 と連携を強め、都や状況等が異 を強く求める。 ③近隣の都心区 に見合っ た配分のルールづくり

商店・工場の元気回復について

質問 京 する事業者への支援を。 京」との連携を重要な施策とし って欲しい。コミュニティーの て検討すること。②ITを中心 企業の支援について、新銀行東 にベンチャー 事業へ進出を計画 員として期待されている中小 が、中小企業の発展に役立 ①都が設立する「新銀行東

答弁 ①中小企業振興策の充実に 努め、新銀行東京」の開業後の ら、創業支援アドバイザーの派 ンチャー 事業者と製造業の事業 た、一定期間の家賃等を補助。 の事業計画作成を支援する。 遣等を通じ、新分野進出のため 携も支援している。17年度か 者グループによる、技術的な連 を考慮し、連携の可能性を考え 実績や区の融資制度との整合性 る。②事業融資あっせんや、べ

ールを。 対策のランドマークとしてアピ 的に推進し、ヒートアイランド 進んでいない。護岸整備の動向 るが、運河の上部利用、活用は 岸上部の緑地の整備は進んでい 無くす事業の進捗状況は。④護 の整備について、下水道管の新 具体的な取り組みは。②風の道 の中で、花と緑の充実に向けた も増えている。また、新たな公 を。 ⑤学校校庭の芝生化を積極 と一般開放に向けた取り組み を埋設する計画と都市型水害を たな敷設や古川の下部に貯留管 いるのか。③防災面からの古川 「春の小川構想」はどうなって としての古川の再生について、 園整備も進展。 このような状況 守る条例などにより、 徐々に緑

答弁 ①港区緑化基本方針等の見 もつながる新たな緑を積極的に 直しに着手して、緑の回復や、 ヒートアイランド現象の緩和に



整備が進む古川の護岸

実施。今後とも、学校関係者、 活用を進める。 (5) 平成16年度 に強く働きかける。4平成17年た。都市型水害の軽減のため都 地域との協働を踏まえ校庭の芝 ら港区エコスクール計画により 道として整備し、運河の利用 河沿い緑地を浮き橋などで連結 度から、橋で分断されている運 を貯留する施設の設置を計画 し、区民が親しめる水辺の散歩 その整備に技術検討会を設置し 古川の地下に洪水で発生した水

将来を託す次世代の育成について

質問 希望の場所となる方途は。②構魅力を回復させ、学校が地域の 児から中学生に至るまでの図書 育成と日本語の重要性は。③乳造改革特区による、英語能力の 方は。 提供における行政、教育のあり 織相互の垣根を越えたサービス 施策化することはなかった。 組 活動は、従来、連続性を持って ていると言われている。学校に ①今、学校の魅力が失われ

答弁 ①魅力ある学校とは、子ど もたちが学校に通えるうれしさ 得するとともに、国際理解を深 る学校を推進する。 ②英語を習 や喜びを感じ、確かな学力を身 能力育成のため、朝の読書活動 め国際人としての資質を養う事 る学校、子供達が誇れる魅力あ る。区民の声を学校経営に生か が重要。その基盤となる日本語 す体制を整え、区民とともにあ に付ける事ができる学校と考え

いて双方の目で確認しあい、知 た計画。今後も効果の検証につ 部局が進める施策と一体となっ り組む様々な施策は、港区基本 化した。また、教育委員会が取 断的に取り組むべき事業を予算 り共通の認識の下、連続的、 要。平成17年度予算編成にあた みを計画的に推進することが重 員会が手を携え連続的な取り組 恵を出し合って相乗効果を生む 計画・実施計画において、区長

港区の公教育について

質問 ①文部科学大臣の「ゆとり 答弁

①学習指導要領のねらいが 間」を廃止するという事ではな 及ぼす子ども達への影響は。 値観が定着しない大人の自信喪 習意欲の低下問題は、社会の価 どのように考えているか。②学 教育」の見直し発言については、 意味であり、総合的な学習の時 失の現われが問題。大人社会が 十分に達成できていないという

がら育てていくことが必要。 ども達を、社会全体で見守りな 要。学校、家庭、地域がそれぞ しっかり身に付けることが必 全育成は、基本的な生活習慣を れの役割を果たし次代を担う子 いと捉えている。⑵子どもの健

防災対策について

質 問 る被害想定の中間報告と、港区 の具体的方針は。 ①国の首都直下型地震によ (2)地域の防災

答弁 ①被害想定の最終報告や東

う観点から改めて見

直し、 地域

やリー ディングアドバイザリー

京都の動向を踏まえ あり、実践的な防災訓練など地 防災住民組織間の協-性がある防災対策を検討する。② 計画を修正する中で、 刀が重要で より実効 地域防災

20%を達成。②「春の小川構想」創出し、平成22年までに緑被率

次整備中。平成17年3月には区

は都が主体となり親水護岸を順

幼児期からのブックスタート事 た。今後、学校はもとより、乳 スタッフの配置などを進めてき

立白金公園部分が完成予定。(3)

推進する。③区長部局と教育委

力を身に付ける施策を総合的に 業や読み聞かせ活動など、国語

芝浦地区の公益施設に

答弁 平成19年4月開記 設予定の芝

アイランド内に新たに住む方だ

区民の声が同

反映され

た夢と

ついて

質問 芝浦・港南地区 不足と、芝浦アイラ 公益施設について。 ンド地区の の公益施設

浦アイランド地区公益施設は、

域防災協議会の活動を支援する。 関する要望については、総合的 も広く利用できる。公益施設に けでなく、従来からの住民の方 に判断する。

指定管理者制度について

質問 答弁 設立趣旨や担ってきた役割 り方についても、検討すること。 を踏まえ、丁寧に検討する。 けては、財団等の外郭団体のあ 指定管理者制度の導入にむ

希望にあふ れる文化・芸術振興施策を 公明党議 員 4

質問 実効性の高い文: ならず、港区の文化な 文化・芸術団体等の 実現のためには、学り 多くの区民の声が行っ っている区民の参加が き届き反映 が不可欠。 芸術に携わ 専門家のみ 識経験者や 化振興施策

今子ども達の安全対策が求められている

民、団体等、学識経験者や多様 定を視野に入れ、学が な方々の意見を幅広く 興懇談会」を設置する。 区民等で構成する「 成17年度に、文化振 できる条例づくりを。 文化・芸術を愛 興条例の制 义化芸術振 識経験者や 何つ。平 好する区

安全安心なまちづくりについて

対策について、速やかに実施で

民間警備員の巡回や学校の安全

①保育園・児童館に対する

に即した防災対策が必要。

具問 (1)最近、小学校: ど、全庁的な取り組みが欠かせ ない。③防災対策に 係行政機関との綿密な連携な 対策はあるのか。② 急増している、港区の た事件や子供達を狙り 河川、架橋、高速道路 性を狙った事件なども増え、関 宅、住宅密集地など、 ついては、 を舞台にし 路、高層住 局齢者や女 の具体的な った事件が 減災とい

今後の財政運営について

防災街づくり指針」を充実し、 中越地震の教訓も生かし、港区

積極的に防災対策に取り組む。

るとともに、効果的な協力体制

く開催し、緊密な情報交換をす 全協議会行政連絡会をきめ細か きるようにする。 ②港区生活安

をつくる。③今後とも、新潟県

質問 ①平成18年都区制度改革に

あたり、本年1月に都が提示し

答弁 ①23区が一致団結して都と する。②都が23区に一方的に負 都区制度改革の趣旨を名実とも 協議を進める中で、平成12年の 積極的に働きかける。 に実現するため、積極的に行動 がないよう都に強く申し入れを。 れない都支出金部分について、 革において、国より税源移譲さ 容を大きく逸脱するもの。 真の 年の都区制度改革で合意した内 た大都市事務の内容は、平成12 担を転嫁することがないよう、 都が区に負担を押し付けること かけるべき。②国の三位一体改 が23区の先頭に立って都に働き 都区制度改革実現に向け、区長

住宅対策について

題に踏み込み積極的に移管拡大 重い。区立住宅、特定公共賃貸 賃負担額が家計に占める割合で 策の方向性や取り組みは。②家 住宅の区への移管について、都 住宅の家賃設定について、どの と区が費用を分担するという問 ように考えているのか。⑶都営 ①これからの港区の住宅施

答弁 ①第2次港区住宅基本計画 対し早期の条件整備を求め、 民間住宅の家賃調査を実施し、 る国の動向を見守るとともに、 る。②今後、法改正を予定してい 管対象住宅の中には、移管受け 適正化について検討する。 ⑶移 基づき、今後も課題解決に努め で示す4つの住宅施策の方針に 入れが困難なものがある。 都に 移

地域密着型サービス」介護事業

つでもヘルパー 派遣を要請でき ①要介護者等が緊急時にい

> サービスのあり方について、需 ビスの充実を目指し、介護者の の策定において、地域密着型サ うな施設の整備、運営を区独自 新たな「緊急ショートステイ」 なくなった場合の対応策として、 要動向等を見極め対応していく。 存施設での対応は困難。今後、介 な事業について検討する。③既 緊急なニー ズに対応できる新た して計画していく。②介護サー ビス施設利用者が宿泊できるよ 事業を展開すべき。 ③デイサー 護保険制度の見直しの中で、デイ で展開することはできないか。 ビスの夜間対応型訪問介護と ①第3期介護保険事業計画

吐産婦健康診断の助成について

質問 めて、子育て支援の一貫した制 含め検討する。 中で、妊産婦を支援する施策を 世代育成支援対策行動計画」の 要。妊産婦健康診断の助成も含 貫した子育て支援策の推進が重 る。健診費用の助成の必要性も 度づくりについて区の見解を。 めには、妊娠から子育てまで、一 充実する方向で位置づけてい 平成17年度から始まる「次 少子化に歯止めをかけるた

発達障害者に対する支援について

することが重要。 康診査等の充実を。②特別支援 活用も③地域で自立し生活して 障害児支援アドバイザー などの 教育の実施にあたっては、発達 期発見と支援が必要。乳幼児健 いくためには、この障害を理解 ①発達障害に対しては、早

答 弁 るよう取り組んでいる。 し、専門医療機関等へ結びつけ 発達障害等を早期に発見 ⑴乳幼児健康診査におい

利用実態を調査せよ。

多様な保育ニー ズに柔軟に対応 致を進めていく(2)認証保育所は、 る定員拡大及び認証保育所の誘 しており、概ね好評と認識する。

子育て世帯への支援について

を推進すべき。

答弁 ①ファミリー世帯も利用可 復活せよ。 を増設せよ。②家賃助成制度を

3・4か月児の健診会場について

答弁 独自の助成は考えていない。

質問 予防接種を希望する子ども

には、区として独自に助成すべき。

介護保険の見直しについて

低所得者の負担を軽減する仕組 ①入所者に新たな負担をお

からアドバイザーを各校に巡回層充実していく。②平成17年度

方策について検討する。 させる。③効果的な意識啓発の

今こそ憲法 生かせ の精神を

区長の憲法擁護の姿勢について

質問 石原都知事の憲法否定発言 答弁 日本国憲法は、国民主権、基 後とも憲法を尊重し擁護する。 本的人権の尊重、平和主義を基 は重大問題だ。区長の見解は。 高法規であると考えており、今 本理念として掲げた、我国の最

質問

シルバーパス制度について

保育の充実について

(2)認証保育所など未認可保育の で、早期に待機児解消をはかれ。 (1)区営、認可保育園の増設

答弁 ①考えていない②都の福祉

入を認めるよう都に申し入れよ。

施策の中で判断されるもの

⑴既存園の改築・改修によ 質問

質問 ①子育て世帯への公的住宅

能な公的住宅を増設する。 活については考えていない。 (2) **復**

ない場合は、区独自での継続を。 対策 (6%負担)を国が継続し ー ムヘルプサービスの低所得者 しないよう国に申し入れよ②ホ しつける居住費、食費の導入を ①区は都を通じ国に対して

答弁 ①専門医の確保と薬液管理

る。②区民の身近なところで育

児相談の充実に努める。

上から、当面1カ所で実施す

らない」が多くの区民の意見。 ともに、まち破壊、



答弁
中止を求めることは考えて いない。区の意見を反映するた め、委員として参加する。

30人学級、少人数学級について

前立腺ガン検診実施について

インフルエンザ予防注射の公費負担 検討会を設置し検討する。 当面50歳以上の希望者に 前立腺がん検診の実施を。

考えはないが、今後の検討課題

(1)3・4か月健診は、みな 質 問 ①港区の実態にあった耐震

質問 (1)30人学級実施を都に求め るべき。②また、港区独自でも 30人学級、少人数学級にふみ出

答弁 ①必要に応じ都へ要望。 都基準の学級編制とコース別授 業で指導。現時点で、実施する

災害対策について

の区有施設を利用して出張健診 保健所などで実施すべき②台場 は母子共に負担が大きい。 と保健所 (旧芝保健所) のみで 旧 3 ヨ面面

基本構想の改定を の区政運営につい

質問 現行基本構想の策定に携わ った前任者とは異なる独自色を 改定を検討すべきでは。出した武井区長は、基本構想の

答弁 現在の基本構想: きものと認識しつつ、 計画の見直し、更には平成21年 民主ク は尊重すべ 今後基本

品川駅周辺のまちづくりに関連して

質問 「 超高層ビルはこれ以上い 国や都に計画の中止を求めると つながる検討会から港区は委員 環境破壊に

を引き上げるべき。

答弁 ①大規模で住戸

物を対象に助成限度!

る制度となるよう検

討 す る。 討 す る。

(2)

げる。今後耐震化が

一層促進す 額を引き上 数の多い建

答弁 事務の効率化やコスト見直

方について区長の見解は。 か、今後の制度の見直しやあり 過し、十分に活用されているの

し等一定の役割を果たしたと考

える。課題克服に向け平成18年

行え。

設水洗トイレの計画な

的な設置を

質問

行政評価制度は、5年を経

べき。②小中学校・

公園などに

行政評価制度について

早急に行う

を通じ、区政運営に取り組む。

ブールの水を利用する貯留型仮

寸

答弁 ⑴区としては、 就学援助制度の認定基準 国の削減には反対すべき。 港区だからこそ率先. 準を引き上げるべき。 関係機関と協議し検 て制度の充実を図る-

⑴家賃が高く、

年の引上げ

して認定基 物価も高い

質 問

「 街づくりマスター プラン

民参画のあり方について

度を目指し、制度を再構築する。

とともに、

フォーラム」について、参加し 検討委員会」と「みなとタウン

(2) 区 とし

巨大な力べ、 制度を維持する。 基準を維持する。

子どもと教職員、学校(の安全

校の安全対策を検討す 制を求めるなど関係機関に強く 有害なメディアには自主的な規 行うべき。②地域との連携で学 な人員増も含めた対応を早急に ⑴各学校で安全は すべき。 (3) 催保に必要

答弁()民間警備の委託について を図り、被害防止に 対策地区委員会や各学校のPT 検討する。②港区で: いる。③関係機関と十分な連携 トロールによる防犯! A、町会・自治会が自主的にパ 努める。 **沽動をして** は、青少年

た区民からそれぞれ正反対の評

答弁 より良い区民参画のあり方 を検討中。平成18年度に「区民 参画システム」を本格実施予定。 価が聞こえる。区長の見解は。

(2)

就学援助の

現行の認定

用地取得について

質問 港区のビル化はまだ続くと 1弁 学校跡地等、区有地の活用 策の検討とあわせ、総合的な用 思われる。将来の施設建設に備 地活用の視点から検討する。 のでなく、低金利の今、積極的 え、基金の積み増しを繰り返す に用地取得を図っていくべき。

、EDの配備と貸出しについて

突然死をもたらす心室細動



AEDによる救急処置

器)を区施設に配備等してはど て、AED (自動体外式除細動

答弁 平成17年度から区内施設に 配備し、イベント等での貸出し も検討する。

答弁 ①旧町名が後世に残り、町 質問 コミュニティの希薄化は大 域を記載したチラシを転入者に を検討。②来年度から町会の区 会をより身近に実感できる方策 誘、の2つを実施してはどうか。 名の復活②転入時の町会入会勧 手助けすべき。そこで、①旧町 きな問題。区として町会加入を 配布するなど加入促進を図る。 質問

京都議定書の啓発活動促進を

答弁 各人が二酸化炭素排出量の る。また、「港区環境行動指針」 しい行動推進事業」を構築す 削減を実感できる「環境にやさ 業者等への働きかけは。 な啓発活動をすべき。また、事 を区内事業者に配布する。 に向け、区民の興味を誘うよう た温室効果ガスの削減目標達成

コミュニティの活性化について への救急処置を行う機器とし 質問 の屋上緑化等に努める。

質問 京都議定書で義務付けられ

酷暑。ヒートアイランド対策を。

ヒートアイランド対策について

質問 真夏の港区は耐え難い程の

質問 全国障害者スポーツ大会に、 姿を広く区民に周知し応援してめている。彼らの頑張っている 若者が毎年参加し、好成績を修 港区からも障害を持った多くの 齢者の雇用対策強化を 障害者スポー ツ大会に オンプズマンみなと・一

答弁 今後、広報紙やホームペー ジによって大会を周知し、成績 ほしい。それは多くの若者たち 優秀者を「みなと区民・スポー の共感と教育効果を合わせ持つ。 票の会

答弁 「港区ヒートアイランド対 策委員会」を設置し、公共施設 障害のある人の社会参加と障害 ツ体育祭」等で表彰するなど、 に対する社会の理解を広める。

ている港区は、都にも相応の水 て独自の対策を講じることも重 は万全と言えなかった。区とし 対策も昨年の異常気象に対して 要だが、多額の調整3税を納め 害対策を求めるべき。 都と港区が進めてきた水害

答弁 区としてできる限り協力し ながら、都に要請していく。

公立幼稚園問題に対する考え方は

答弁 サミット開催について関連

体と環境サミットを開いては。 近隣区と共同で多摩地区の自治

自治体と調整していく。

住宅付置義務について

質問

答弁 区内での住宅建設の動向等 見直しの必要があるのでは。 を踏まえ、課題整理に取り組む。 導要綱は、人口が増加した現在、 Ø 付置を義務付けた定住促進指 定規模以上のビル建設に住宅 区の人口減少期に作られ、

教育について

公立小学校の民間警備委託を

ると考える。

答弁()各学校の実態に即した学 の質を向上させるためにも学校 揮し、公教育の復権を目指す。 出身の教育長自身の基本姿勢は。 な情報を提供し、又学校や教員 を図る。②リーダーシップを発 校評価を行い、学校教育の充実 評価制度の導入を。(2)教育現場 ①保護者に対し、より適切

高齢者雇用対策に対し区の考えは

答弁(シルバー人材センターの支 就業機会確保に努める。 援を継続し、高齢者の地域での

高齢化率の増加という事態に直 今後わが国は、人口減少と

多摩と都心区で環境サミットを 社会参加のためにシルバー人材 センターの改革が必要では。

中高年齢者への創業支援について

質問 都心区は、多摩から空気と

境への負担が軽減されている。

オゾンの提供を受けることで環

答弁 中高齢者をはじめとして、 質問

で、適切な配置計画が策定され 区民への説明責任を果たすこと 務局案に対する区長の考えは。 精査・検証の跡が伺えない。事 構想は、旧来の配置計画と変らず、 公立幼稚園の支所単位6園 区民と情報を共有した上で

質問 公立小学校の民間警備委託 本区でも実施すべきと思うが。 が他の自治体で検討されている。 教員を始めとする学校職員

委託の速やかな実施を検討する。 置等を図るとともに、民間警備 るよう徹底し、防犯カメラの設 が危機管理意識を持って行動す

質問 生活保護受給世帯増加の大 問題をどう捉えているか。 者の増大にある。区としてこの きな一因は、働き口のない高齢

れ、効率化が達成されるか。

質問 「生きる力」と「ゆとり教

育」との関係をどう捉えている

シルバー 人材センター の改革を

面する。高齢者の多様な就業・

答弁 シルバー人材センターが創 業展開を行なうよう指導する。 意と工夫を凝らし、意欲的な事

る創業への支援を実施すべき。 一の枠に入らない中高齢者によ 区内創業を志す方々を支援する。 従来のシルバー 人材センタ

託/安全・安心な学校づくりける区民参画/図書館の民間委職員の適正配置/支所改革にお

区民クラブ

止や委託に移す等、絶えず行財質問 見直しが必要な事業は、廃 質問 支所改革における、行政サ の参画を。 - ビス向上の取り組みに、区民 断の努力を重ねていく。 も職員定数の適正配置に向け不 き続き職員の適正配置を進めよ。 減を上回り達成できる。 今後と 平成17年度に目標の400人削 は、計画年度を1年前倒しし、 政改革を実行していくべき。引 現在の職員適正配置計画で

質問 図書館の委託により、どの 答弁 職員と区民の方々が手をた ようなサービスの向上がなさ ずさえ、活力ある地域づくりが できるよう取り組んでいく。

質問 学校への不審者侵入につい 答弁 祝日開館を実施し、将来的 件費を抑制しつつ、図書館資料 ては、設備の改善と撃退対策も の充実や相談機能の向上を図る。 ・安心できる学校づくりに取り 不可欠。今後、どのように安全 には通年開館を検討。また、人

の か。

安全管理体制を補完するた

質問 成手法を使って、予算書をまと 際し、どのような新しい予算編

質問 如何にして区政運営全般の 答弁 区民参画システムの構築と 答弁 直接、主管課長から説明を 組みを改革し、区民に信頼され区役所改革を通じて、区政の仕 のか。 受け判断した。組織を横断的に 区民の身近にある区政運営を実 取り入れ、積極的に予算化した。 取り組むべき事業という視点を 仕組みを改革しようとしている

質問 「ゆとり教育」批判に教育 答 弁 性、社会性、協調性の育成など 界全体が動揺しようとしている 教育の普遍性を基軸とし、一人 が、港区はどう対処するのか。 ひとりの子どもに応じた教育の 現行の学習指導要領に基づ 確かな学力の定着や道徳

質問 バリアフリーのまちづくり

バイク対策を進める。

答弁 「生きる力」はゆとりある 能だけでなく、判断力や創造力

達が、イザというときの行動が 整備する。また、職員や子ども 加えて防護楯等の防護グッズを め、民間警備委託を検討する。 とれるよう、不審者侵入を想定

した訓練等を行なっていく。

られる授業に専念せよ!! ことなく、「生きる力」をつけ ゆとり教育」批判にぶれる

めたのか。 みなとかがやき 今年度の予算編成を行うに

現 す る。

充実を図る。

生きて働く力として、知識・技 れた総合的な学習の時間では、 教育と深い関係がある。新設さ

の育成を目指す。 など、自ら課題を解

沢する能力

動物と共生できる社会へ!

バイクに積極的な取り 駅前の放置自転車・区 港区独自の総合的なペット施策 組みを。置

ネットワー クみ なと社民

重要だが、

答弁 区内7千棟の木造建物のう 見問 「減災」対策が| 棟の改修助成を予定。 ち、17年度は、10棟の診断と70 改修助成の今年度の[木造住宅の無料耐震な 目標は。 診断と耐震

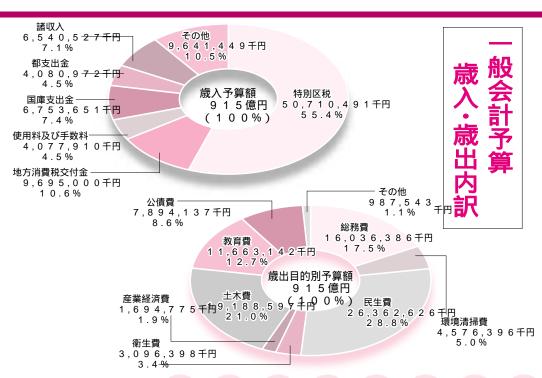
答弁 住民・区・警察と連携して 質問 区民はペットの飼育マナー 質問 非核宣言自治体である港区 答弁 区民とともに、指針である 答弁 恒久平和の実現-「区民参画システム」を策定する。 クは危険である。警察 る総合的な施策の実施時期だが。 としての核廃絶への[て積極的に対応すべき。 を守り、区はペットと共生でき 民と共にすすめるべる 廃絶を広く訴え、平和事業を実施。 路上に放置され 庁内連携体制で検討する。 「区民参画」に きだが。 見解は。 祭と連携し ているバイ ついて、区 と核兵器の

答弁 区の歴史や伝統を 質問 都心港区として、 ついて積極的に取り組むべき。 として駅前の放置自転車対策に の市町村との姉妹都市協定や交 去回数増等積極的に取り組む。 け、整理区域の拡大や、即日撤 流事業を実施し、文章 道路美化協力員制度を設 化振興を。 とにも積極 を地方に発 全国各地 法の改善にも努めていく。 利用拡大に努めている。申込方 便性の向上が必要。

住民発意の街づくりの推進を! 局齢者ショートステイの充実を!

仲間へ勇気の会

答弁 「空きベッド」を活用し、 質問 現在先着順で利用者を決め 質問 街並の変貌激しい港区にお 域での飼い方ルールを含め区の を推進するとともに、愛護団体 法の改善や定員の拡大など、利 ているショートステイの申込方 仕組みが必要ではないか。 住民発意の街づくりを推進する い。まちづくり条例の制定など いて区の各種施策は強制力がな のある施策を考えていく。 と協議し、ルール作り等有効性 愛護団体やボランティアの方々 ペット施策を検討していく。⑶ 等と協力し啓発に努める。②地 を設けた。今後もこれらの活動 室や動物愛護推進員との懇談会 努力は認めるが、今後の対策は。 を積極的に行ってほしい。区の 持に努めてくれている方へ支援 手術を自費で行い、区内環境維 ない猫にえさやりや不妊・去勢 け、区の対応は。③飼い主のい きな方と嫌いな方との共存に向 自治体が増えている。 動物が好 ガイドラインや条例を策定する べき。②ペットの飼育に関する し、愛護精神の普及強化を図る ①今年度より犬の飼い方教 良好な景観作りに取り組む。 ①動物愛護団体等と協力





【要 【派【の【主【な【質 【望 ▮事

防止・ 倒し・認知症高齢者グループホーム・高齢者虐待 ついて(民生費)特別養護老人ホームの建設計画前 区職員の互助会補助金・防災、 既存の学校跡地の有効活用・特殊勤務手当て・港 について・個人情報保護と庁内端末機の安全対策 数配置計画・職員住宅の整備・知的障害者の施設 み・財政指標の現状・経常収支比率に見合った区 (歳入) 公債費について・税収構造の予測と見诵 契約業務の透明化 (環境清掃費)温暖化対策に ・税制改正の動向・三位一体改革に伴う取り組 職員地域訪問事業・障害者福祉事業団の法 ビス (総務費) 国公有地の遊休地の活用・ 防犯対策・職員定

4

ケを 30人学級・少人数学級を ティバスを
区有地や国公有地を活用して住宅建 助成を ・4カ月健診を身近な場所で 妊産婦健診費用の 当の復活を 特養ホーム建設計画は前倒しし待機 を聴く機会を「学校の運営経費・修繕費を増額せ 修助成を 猫の去勢・不妊手術助成額の拡大を 下げを マンションでも使いやすい耐震診断 ないという立場を き店舗事業を実施せよ 交通不便地域にコミュニ 者に見合ったものに 特別控除と障害者控除の周知を 機児童解消を「定率減税の半減に見合う保育料引 3%の利用者負担」の継続を 高齢者寝たきり手 への援助・強化を ホームヘルプサービスの 大企業が得る利益にふさわしい区独自の占用料 税制改正の影響による国保負担増の対策を 消防団分団本部施設の設置・改善を 幼稚園配置計画決定前に区民・保護者の意見 まち破壊の再開発、超高層ビルはもういら 学校選択制の見直しを 校庭芝生化の推進 階段昇降機の費用負担は所得に応じて 小規模事業者登録を通年に 認可保育園の増設で本来の待 福祉会館全館に通信カラオ 図書館の民間委託はや 障害者福祉事業 商店街の空 障害者 3

金高輪駐車場について・地籍問題・浸水対策 (教 の駐輪場・芝浦港南地域の緑と水の街づくり・白 ター事業・商店街振興事業 (土木費) 田町駅西口 虐待防止・ブックスタート事業・女性のガン対策

人化・災害要援護者対策について(衛生費)児童

(産業経済費) 異業種交流事業・産業ミニクラス

育費)小学校の英語教育・区立図書館の民間委託

について・教育行政の基本構想の策定

ンター の質の充実・不登校対策・学校の安全対策

図書館ICタグ・麻布図書館のIT化・教育セ

民 党 議 員 寸

民

主

ク

ラ

ついて、シルバー人材センターの え方について《民生費》少子化対 庭で生ゴミを減らすための区の考 康診査について《産業経済費》 健所の再編整備について、定期健 取り組みについて、 策について、保育待機児ゼロへの 境清掃費》食品リサイクル法・家 て、都市型有線テレビについて《環 について、新住民のコミュニティ について、NPOハウスについ 活用について《衛生費》 みなと保 《総務費》区民の安全対策の具体 歳入》未収金・貸付金について 地域防災について、消防団費 生活保護費に 芝浦商店街について、共通商品券 学連携について、産団連支援につ 育の関わりについて、 ついて、古川・運河の再生につい スタープランについて、 木費 事業所への家賃補助について《土 街変身戦略プログラムについて、 Ć Ź 水辺の散歩道整備・港区水循環マ について、観光事業費について、 いて、産業文化展について、商店 《教育費》学校の魅力向上につい 目黒通りの街づくりについて、 心の教育について、 花と緑のまちづくりについて 電線類地中化推進について 学校警備の 景観法に 犯罪と教

来を見据えた財政運営について、 ついて、 発と具体的な施策について、子ども 役所改革について、災害に対する啓 用について、移動教室・夏季学園に い 編整備との関連・子どもの食育に 代育成支援対策行動計画と保健所再 校の民間警備の検討について、次世 のパトロール実施、幼稚園・小中学 の安全対策、子どもの施設・通学路 資料館・文化財について《総括》 あり方について、ニコニコ学園の活 ζ Ţ 図書館の運営について、新郷土 環境施策の方向性につい 放課後児童育成事業につい X 将

海洋大学との連携について。

員 寸

総務費 CATYの適正価格。指定管理者制度に向け、外郭団体との関係の見直しを。旧赤坂小学校跡地を人が集まる施設等に活用を。コミュニティの支援について。若者の就労支援について。民生費障害者に園芸指導を。 達法駐輪の禁止の徹底と駐輪場のいて。 土木費 赤坂通りの渋滞緩和を。ちいばす停留所前に一般車侵入禁止エリアの設置を。 違法駐輪の禁止の徹底と駐輪場の確保を。公衆便所の廃止は慎重に。建築紛争の斡旋・調停の状況・件数について。 一方できないか。 スポーツや文化芸術活動で 「活躍した児童生徒を、区の広報紙で広く顕彰・PRできないか。スポーツや文化芸術活動で 「活躍した児童生徒を、区の広報紙で広く顕彰・PRできないか。 総括質問繰上げ償還 同力けるべき。公平な入札制度について。 連合わせるべき。公平な入札制度について。 着定管理者

オンブズマンみなと・一 票の会

食材に安心・安全の数値目標をについて 幼稚園配置計画について 給食相談員について 教育費 性教育の問題点人材センターについて 介護保険及び介護学イサービス提供について 港区シルバー 生活保護と高齢者の問題及び高齢者への 文化振興費について タウンフォーラムの文化振興費について 清掃事業の今後は 民生費の使途として整理すべき 5チャンネル及の使途として整理すべき 5チャンネル及の使途として整理すべき 5チャンネル及の展開=拡充・拡大を目指すべき 職 中総 **慰港区スポーツふれあい文化健康財団の** 小集合住宅のコミュニティ意識について 務費 男女平等参画推進事業について

平成17年度

予笪特別

平成17年度各会計予算

手の回収方法をシステム化せよ。

携機関を拡大せよ。 使用済み切

電子図書館を目指せ。障害保健

図書館業務の民間委託を促進し

勢を評価し、審議における我が会派の

福祉センター 周辺のバリアフリ

う望み、予算4案はいずれも賛成する。 意見・要望が予算執行に反映されるよ

・化を図れ。玄米給食の導入を。

みんなとパトロール中」の提

み

な

が

ゃ

予算4案は2月25日の本会議において、全議員33名で構成す る「平成17年度予算特別委員会 (大蔦幸雄委員長、熊田ちづ子 副委員長、藤本潔副委員長)を設置し、3月4日から14日まで 審査が行われました。特別委員会では、平成17年度各会計(-国民健康保険事業会計、老人保健医療会計、介護保険 会計)予算の4案に対する活発な質疑を行った後、各会派の賛 否の態度を表明しました。その後、3月15日、本会議において、 予算4案をそれぞれ賛成多数で可決しました。

仲

間

勇

気

の

会 計 別	予 算 額	前年度増減率
一 般 会 計	91 500 000千円	5 3%
国民健康保険事業会計	15 ,646 ,953千円	4 4%
老人保険医療会計	13 835 340千円	0 5%
介護保険会計	8 ,750 ,851千円	5 5%
合 計	129 ,733 ,144千円	4 6%

各Ⅰ会Ⅰ派ⅠのⅠ主ⅠなⅠ質Ⅰ問Ⅰ・Ⅰ要 【望 【事【項

る灰皿の実態調査を実施せよ。 十分アピールせよ。道路上にあ 道路美化協力員」制度を区民に

的なタバコルールに民生認証保 総務窓口業務の時間・場所の拡 を環境清掃歩行喫煙減少へ効果 大を。通学路パトロールの拡充 育所保育料助成について。病児 の充実を総括学校選択希望制を

保育について衛生動物行政につ

活かし、魅力ある公立学校へ

成事業について。 歯の健康教育 ッグランについて教育国際人育 効果的な放置自転車対策を。ド いて。元気食事業の充実を土木

ネットワークみなと社民

書を英文でも発行を 緊急用メ 編成過程での区民参画を 防災 援への区民団体の育成を 対策の強化を 戸籍など行政文 少子化対策の充実と子育て支 予算

ル配信を区民にも拡大を

中に放置自転車ゼロへ 基本計画策定に区民参画を。 全校に栄養士の配置を 置自転車の即日撤去と、17年度 ATVの制作費は費用対効果を 父子家庭の支援の充実を 放 区費で

区民生活関連施策での一定の改善は

トイレのウォッシュレット化を 読書の本来的意味を理解させよ。

公明党議員団

区を担う子どもたちを育む環境づくり ついては、いずれも賛成いたします。 から述べた意見、要望が十分反映され を最重点施策とした積極的な予算編 て暮らせる地域社会づくり、次代の港 るよう期待いたしまして、予算四案に 成。予算執行にあたっては、わが会派 平成十七年度予算は、安全で安心し

みなとかがやき

も無駄にしない」という意識を全職員 忘れないで欲しい。「税金を一円たりと ものと信じ、予算4案には賛成します。 長のリーダーシップでやってもらえる に徹底させて欲しい。以上の二点を区 しかしながら、継続的な行財政改革は 的な予算を組んだことは批判はしない。 良好な特別区民税収入のもと、積極 港区民ク

して積極的に予算化した。 区民の声に 支援対策、教育の充実を最重点施策と 全・安心と危機管理、少子化・子育て

17年度は災害と治安対策、区民の安

真摯にかつ迅速に対応される区長の姿

援の環境づくり」等を重点施策とした とを要望し予算4案に賛成する。 ム」の構築など、真摯に取組まれるこ な区政」の実現、小児医療支援システ の。 わが会派が要望した、 区民に身近 **積極予算であり、高く評価できるも** して暮らせるまちづくり」、「子育て支

予算2005は、区民が安全で安心

民 ク ラ ブ

【総務費】

定数配置計画

支

港

X

争予防について 公園・児童遊 み 小児診療できる医療システ 青少年 建築紛

生費】 高齢者への食事サービ スは全福祉会館で 子育て支援 所改革においての区民参画【民 幼児期からの歯科保健の取り組 の健全育成 図書館の民間委託 園の運営・管理【教育費】 諸高原学園の跡地活用 ムの確保を【土木費】

の先進区を目指せ【衛生費】

自民党議員団

予算に対する 各会派の態度表明

民主クラブ

共産党議員団

を求めるためにも予算案には反対する。 福祉の充実と区民本意の施策への転換 も顕著に表れている。 いっそうの区民

える区政運営を目指す必要がありま 政が実現することを目指し、また、民 化に対応し、より区民からの期待に応 て、予算四案に賛成します。 今後の区政に反映されることを要望し 主クラブ議員団からの意見・要望が、 す。行政改革の推進と、区民本位の区 急速な時代の変化と区民ニーズの変

仲間へ勇気の会

極的に盛り込んだものと評価いたしま く望み、 会の提言や要望が反映されることを強 果的な情報提供を望みます。 す。顔の見える自治体であるよう、効 を基盤に、区民ニー ズの高い事業を積 平成17年度予算は、良好な財政状況 予算4案に関しては、仲間へ勇気の 賛成いたします。

ネットワークみなと社民 ●

助金支出。教育関連施設へのPFI導 益を保証する再開発事業へは巨額の補 みられるものの相変わらず大企業の利

人を計画するなど、大企業奉仕の姿勢

めると共に、更なる施策展開の実施 要望して、予算4議案に賛成します。 あたり、十分に反映されることを強く 望については、平成77年度予算執行に 迅速にまた全力に取り組み、意見・要 を。予算審議での多くの課題に向けて ビスの提供と積極的な区政運営を求 区民の視点にたった質の高い行政サ

● オンブズマンみなと・一票の会

武井新区長主導による初めての予算案 ォーカスをあて無駄、無用、不正に対 方々の期待と希望を寄せて一般会計を が、今回は〝正しい〟に多くの区民の 含む四案すべてに賛成をいたしました。 する指摘そして改善を求めてきました い、゙゙正しくない、の゙正しくない、にフ に対するものです。前区長までは゛正し

議案等の審議結果

各会派の態度 …賛成 ×…反対

略称 オンブズー票の会...オンブズマンみなと・一票の会 ネットみなと社民...ネットワークみなと社民

MERTON 33	//	RUJ ⊠ ∕	3227	(<i>)</i> 0//4	C 25.) , ,	71 0760	1111		かなと社民
案 件 名		公明党 議員団								議決結果
港区組織条例の一部を改正する条例 危機管理部の設置ほか										原案可決
港区人事行政の運営の状況の公表に関する条例 地方公務員法の一部改正により、人事行政の運営等の 状況に関する公表制度の導入										原案可決
港区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 技能系職員に新たな任用制度を導入することに伴な う、技能系職員に適用する給料表の改定										原案可決
港区職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する 条例 清掃業務手当の追加										原案可決
港区街づくり推進事務手数料条例の一部を改正する条例 屋外広告物許可申請等の手数料の引き上げ等										原案可決
港区保健衛生事務手数料条例の一部を改正する条例 薬局開設許可申請等の手数料の新設										原案可決
港区立公園条例の一部を改正する条例 都市公園法の一部改正により、公園に放置されている工作物等について、 区長が除去した場合の保管、売却等を規定										原案可決
港区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例 東京都市計画用途地域及び汐留地区地区計画の都市計画変更及び建築基準法の一部改正に伴う規定の整備			×							原案可決
港区中高層階住居専用地区建築条例の一部を改正する条例 建築基準法の一部改正に伴う規定の整備										原案可決
港区特別工業地区建築条例の一部を改正する条例 建築基準法の一部改正に伴う規定の整備										原案可決
港区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例 児童福祉法の一部改正に伴う規定の整備										原案可決
港区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を 改正する条例 児童福祉法の一部改正に伴う規定の整備										原案可決
港区子ども医療費助成条例の一部を改正する条例 児童福祉法の一部改正に伴う規定の整備										原案可決
港区大規模災害被災地の支援等に関する条例 大規模災害被災地の支援等を行なうことにより、被災 地の災害応急対策及び災害復旧に資することを目的とし た条例の制定										原案可決
港区国民健康保険条例の一部を改正する条例 国民健康保険の保険料率改定等及び国民健康保険法施 行令の一部改正に伴う規定の整備			×					×		原案可決
港区国民健康保険高額療養費資金貸付条例の一部を改正 する条例 出産費資金の貸付制度の設置										原案可決
港区立学校設置条例の一部を改正する条例 高輪台小学校改修工事完了に伴う位置の変更										原案可決
港区文化財保護条例の一部を改正する条例 文化財保護 法の一部を改正する法律の施行に伴う規定の整備										原案可決
平成16年度港区一般会計補正予算(第3号) 74億131万9千円増額 総額1,028億5,706万1千円 補正の主な内容 震災対策積立金等の計上										原案可決
平成16年度港区国民健康保険事業会計補正予算(第2号) 3,389万1千円増額 総額152億6,640万8千円 補正の主な内容 繰越金の増額										原案可決
平成17年度港区一般会計予算 総額915億円			×							原案可決
平成17年度港区国民健康保険事業会計予算 総額156億4,695万3千円			×							原案可決
平成17年度港区老人保健医療会計予算 総額138億3 534万円			×							原案可決
平成17年度港区介護保険会計予算 総額87億5,085万1千円			×							原案可決
訴えの提起について 建物(区立住宅シティハイツ赤坂) 明渡し等の請求に関する民事訴訟の提起										原案可決
包括外部監査契約の締結について 契約金額 945万円を上限とする金額										原案可決
特別区人事及び厚生事務組合規約の変更に関する協議に ついて 組合の事務所の位置の変更										原案可決
東京二十三区清掃一部事務組合規約の変更に関する協議 について 組合の事務所の位置の変更										原案可決
東京二十三区清掃協議会規約の変更に関する協議について 協議会の事務所の位置の変更										原案可決
障害者自立支援法案の制定に対する意見書提出に関する 請願										採択
(仮称)南麻布3丁目プロジェクト計画」に対し、計画の見直しを求める請願										採択
回転ドアで死亡事故を起こし、業務上過失致死容疑で書類送検された森ビル (株)への港区の膨大な補助金に反対する請願	×	×		×	×	×	×	×	×	不採択
生活保護に関する国庫負担の引き下げに反対する意見書										原案可決
障害者自立支援法案の制定に対する意見書 										原案可決原案可決原案可決
港区教育委員会委員の任命の同意について 澤 孝一郎氏			×	×	×			退席	×	同意
人権擁護委員候補者の推薦について (西 清子氏)										原案可決
//	L	-					-			

があり、米軍ヘリコプターの、港区には23区唯一の米軍基 発着による騒音と事故発生の危

復と返還を求める、米国大使あた臨時ヘリポート用地の原状回撤去と都立青山公園内に設置し訪問し、米軍ヘリポートの早期 の幹事長と区長が米国大使館を長並びに全会派を代表し4会派 このため、区議会は、米軍へ険性が問題となっています。 請を各関係機関に行っています。 ての要請書を提出しました。 リポート基地の撤去を求める要 2月14日には、議長及び副議

平成16年の区議会活動

定例会の開会状況									
会議名	会 期	延日数	本会議日数						
第1回臨時会	1月16日	1日	1日						
第1回定例会	2月26日~ 3月16日	20日	3日						
第2回定例会	7月14日~ 7月23日	10日	4日						
第3回定例会	9月16日~10月 6日	21日	4日						
第4回定例会	11月25日~12月 3日	9日	3日						
計	定例会4回·臨時会1回	61日	15日						

委員会の開会状況

委員	員会名	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
	総	務	1	1	6	1		1	4		3	2	3	3	25
常任	保健福	祉	1	2	5	1		1	3		3	2	3	3	24
委	建	設	1	2	5	1	1	1	4		3	3	3	3	27
員会	区民文	教	2	1	5	1	1	1	4		3	2	3	3	26
	小	計	5	6	21	4	2	4	15		12	9	12	12	102
	交 通 環境等対	・	2		2			1	1		1	1	1	1	10
特	財政等対	策	1	1	1				2			2	1	2	10
別委	まちづく! 子育て等対		1	1	1	1	1		1		1	2	1	2	12
員会	16年度予	算		1	7										8
	15年度決	算									6	3			9
	小	計	4	3	11	1	1	1	4		8	8	3	5	49
議	会運営委員	会	1	3	3			1	4		4	2	3	1	22
合		計	10	12	35	5	3	6	23		24	19	18	18	173

お詫びと訂正

159号に掲載いたしました、共産党代表 ・一般質問のタイトルの中で、20人・少 人数学級の早期実現を」は、「30人・少人 数学級の早期実現を」の誤りでした。お 詫びして訂正いたします。

> 矢野健一郎 山 越 明 林田 和雄 和雄

に開会される予定です。
次回の定例会は、6月に、心からお見舞申し上り、被害に遭われた方々り、被害に遭われた方々